

講義コード	11C0127500	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員	外木 好美	開講期	第1期
科目名	証券市場論Ⅰ								
履修前提条件						備考			
授業の目的	<p>家計といった黒字（資金余剰）主体から、企業といった赤字（資金不足）主体へと資金の移転をいかに効率的にするのか、そしてそのシステムのあり方について、学習します。資金調達の方法として、金融仲介機関である銀行からの借入もありますが、市場で株式や社債を発行する方法もあります。この授業では、主に市場を通じた資金調達手段にスポットをあて、株価や債権価格、利回り等がどう決定されるのか学びます。また、将来の不確実性（例えば価格変動リスク）へのリスクマネジメントの手段としての、金融派生商品（デリバティブ）取引についても扱います。先物、オプション、スワップといった金融商品がどのような商品なのか、そして、各商品の利益と損失がどう発生するのか、学びましょう。この授業では、ミクロ経済学の需給均衡による価格決定メカニズムや情報の非対称性の考え方、基礎統計の平均や分散、金融論の裁定条件を使います。これら科目を履修していることが望ましいです。</p>								
到達目標	<p>まず、①市場を通じた資金調達的手段にどのようなものがあるのか、そして市場がうまく機能するための工夫（システム）を知りましょう。次に②株や債権の価格がどう決定されるのか、そして利回りの計算方法を理解しましょう。最後に③金融派生商品にどのようなものがあるのかを知り、それぞれがどういったリスクに備えた商品なのかを理解しましょう。そして、④各金融派生商品の損益がどう発生するのか、理解しましょう。</p>								
授業外学修内容・授業外学修時間数	<p>日経新聞のマーケット情報に目を通し、自身が習った内容と関係のある記事がないか確認しましょう。また、授業であつかった金融商品として具体的にどういったものがあるのか、その値動きがどうなのかを、インターネット等で調べてみましょう。授業外学修は60時間以上、行うこと。</p>								
授業計画	<p>【第1回】金融の役割 【第2回】金融機関の機能 【第3回】金融資産のリターンとリスク 【第4回】金融商品の価格 【第5回】金融市場の役割 【第6回】金融取引と金融システム 【第7回】債券市場の特徴 【第8回】中間テスト 【第9回】株式市場の特徴 【第10回】金融市場の効率性 【第11回】証券化商品市場 【第12回】金融派生商品市場Ⅰ：先物 【第13回】金融派生商品市場Ⅱ：オプション 【第14回】金融派生商品市場Ⅲ：スワップ取引 【第15回】まとめ</p>								
成績評価の方法	<p>平常点、中間レポートと期末試験で成績を評価します。</p>								
フィードバックの内容	<p>各章で復習問題で、習熟度を確認してもらいます。もし解答に困ったら、講義後に残っている時間で質問をしてください。個別に指導します。勉強したつもりではなく、先生に質問しながら能動的に学習をしてください。証券投資をするために必要な知識として、金融システムがなぜあるのか、株価等の資産価格はどう決まるのかといった内容を扱っています。特に資産価格については、図や数式を用いてその価値がいくらかを導き出すことになります。数学が苦手な学生にとっては大変ですが、証券投資における利益構造を理解するためには必要です。是非、講義後に声をかけて、理解を深めるようにしましょう。</p>								
教科書	『テキスト金融論』堀江康熙・有岡律子（新世社）2012								
指定図書									
参考書	『証券論 — History, Logic, and Structure』大村 敬一、俊野 雅司（有斐閣）2014、『金融論 — 市場と経済政策の有効性』福田 慎一（有斐閣）2013								
教員からのお知らせ	算数、数学、図、数式等でわからないことがあったら、簡単なことでも、声をかけてください。								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、学部学科にて定めるオフィスアワーにて受け付けます								
その他									